

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成 29 年度 第 1 回益田市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成 30 年 2 月 13 日（火）午後 1 時 30 分～3 時
開催場所	益田市立市民学習センター 2 階 202 研修室
出席者	<p>審議会委員】13 名</p> <p>益田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第 5 条 2 項に基づき委員半数以上出席のため成立した。</p> <p>大羽委員、石川委員、藤井委員、嘉藤委員、石田委員、光永委員、松崎委員、大久保委員、牛尾委員、豊田委員、小川委員、渡邊委員、藤岡委員</p> <p>【事務局】4 名</p> <p>原田環境衛生課長、石川課長補佐兼環境係長、橋本廃棄物・保全係長、岡本主任</p> <p>【欠席委員】2 名</p> <p>村上委員、島田委員</p>
議題	<p>【議題 1】会長の選任について</p> <p>【議題 2】副会長の選任について</p> <p>【報告 1】益田市のごみ処理の現状について</p> <p>【報告 2】平成 29 年度益田市一般廃棄物処理基本計画について</p> <p>その他 水銀体温計等の回収について</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	無
審議経過	
議題 1	<p>○会長の選任について</p> <p>・大久保委員が会長として選任された。</p>
議題 2	<p>○副会長の選任について</p> <p>・藤井委員が副会長として選任された。</p>
報告 1 市説明	<p>○益田市のごみ処理の現状について</p> <p>・平成 28 年度までの益田市のご処理の現状を塵芥ごみとリサイクル収集ごみ処理状況を説明。</p> <p>・家庭系の燃やせるごみは平成 26 度をピークに減少傾向です。事業系の燃やせるごみは、平成 27、28 年度には増加しています。燃やせないごみは、平成 28 年度は大幅に減っています。</p> <p>・資源ごみは年々減少傾向にはありますが、容器包装プラと家具の</p>

<p>委員 市 委員 市 委員 市 委員 市長 委員 市 委員 市</p>	<p>回収量が若干増加傾向にあります。容器包装プラは平成 28 年度から週 3 回に収集回数を増やしたことも影響していると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみは、一部有価で買い取りしてもらっていますが、資源の量減少と買い取り額の低下もあり、買取額は年々減少傾向にあります。</li> </ul> <p><b>【報告 1 に対する質疑・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この実績数値は何月で閉めてりるのか。</li> <li>年 4 月から 3 月の期間です。</li> <li>年度ごとの人口が表示されいと検討がしやすい。一人あたりのごみの排出量とか分かると分析出来るのでないか。</li> <li>平成 27 年度 3 月末現在人口 48,260 人、一人あたりごみ量 982 g です。同じく平成 28 年度 47,736 人、971 g となっています。また、平成 27 年度の全国の一人あたりごみ量 939 g です。今後の資料については、訂正していきます。</li> <li>ごみ質の提示もあった方がよい。</li> <li>ごみ質調査は毎年行っているものではありませんが、合わせて検討して出させていただきます。</li> <li>減量するために何を実施するか課題を明確にするためには、もっと検討資料の提示が必要ではないか。</li> <li>事務局の方で、そういう意見を踏まえた対応をしていただきたい。</li> <li>新聞の記事で、ごみの収集をステーション収集方式から戸別集配方式に変更したらごみが格段に減ったとあった。</li> <li>益田市の場合は、ごみステーション収集方式を実施しています。コストも考えると、都会の人口密集地であればやりやすいのだと思います。</li> <li>益田市のこの辺の市街地は人口密集地なので、ごみを減量するという視点で考えるとそういう選択肢もあるのではないですか。どれ位コスト高になるか研究する価値はあると思うのですが。</li> <li>東京の 23 区の中で、基本的な分別ができてなかったところで、戸別にして。家の表に出す関係で分別を実施するようになったということです。</li> </ul> <p>益田市では、戸別からごみステーション方式に変わり、きちんと分別されている状況にあると思っています。</p> <p>今後は、参考にして検討していければと思います。</p>
---	---

<p>報告 2 市説明</p> <p>委員 市 委員</p>	<p>○平成 29 年度益田市一般廃棄物処理基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度のごみ計画排出量は、昨年とほぼ同量です。</li> <li>・ごみ排出抑制に向けた取り組みとしては、広報等、各自治会説明会、エコリスフェア、マイバック持参運動等を実施します。生ごみ処理機購入の補助、ミミズの生ごみ減量化の講座を開催し、ごみ減量化に向けて取り組みます。</li> <li>・ごみステーション補助金、資源ごみ集団回収補助、木製家具の回収、平成 29 年度から木製家具の随時販売も行っています。</li> <li>・ごみに混入する禁忌品（注射針等）の混入防止の啓発を実施します。</li> <li>・ごみ収集にあたっては、基本的に委託で実施しています。</li> <li>・収集運搬許可業者は、現在 12 社です。現在の体制で益田市のごみを収集できるという判断であり、新たな許可は行わない方針です。</li> <li>・ごみ出し困難者への戸別収集を実施しています。ふれあい収集実施要綱を整備しました。在宅医療の医療器具は、医療機関へ返却するよう周知します。</li> <li>・家電リサイクル法の対象機種は、販売店等で引き取ってもらいます。</li> <li>・パソコンは、メーカーが引き取りを実施しています。よって市では回収していません。</li> <li>・クリーンセンターでは、燃やせるごみの焼却処理を行い、不燃ごみは、益田市リサイクルプラザで手選別後、埋立ごみとして最終処分します。</li> </ul> <p>施設排水を処理する施設では、排水前に処理し排水します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止のため、広報啓発や職員がパトロールしています。</li> <li>・野焼き禁止の指導としては、苦情があったら現地指導を実施しています。説明会等でも周知を行います。</li> <li>・し尿、浄化槽汚泥の搬入実績を掲載しています。</li> <li>・来年度、一般廃棄物処理基本計画を 5 年経過のため改定します。2 回は、本審議会でも検討していただく予定です。</li> </ul> <p><b>【報告 2 対する質疑・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい収集の実績は。</li> <li>・140 世帯を回収しています。</li> <li>・ごみを出せなくなっている世帯がある。高齢者は、ベビーカーで</li> </ul>
--	--

	<p>運んでいる。もっと増える可能性があるのではないか。年間の経費は。</p>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数は、施設入所やお亡くなりになる関係で、ほぼ同じ推移となっています。約年間 700 万弱の予算です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度の実施計画を、後、数か月しかないところで報告するのはどうか。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月か 7 月に数字が確定しますので、来年以降はすみやかに実施したいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ量に対する処理にかかったコストは示せないのか。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集別の経費はお示しすることは可能です。この計画には掲載できないが、別途提示します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃食油の量はどう推移しているか。精製したものは、どうしているのか。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃食油収集した量は、昨年 8 t です。精製したのも 8 t です。精製したものは、ごみ収集車（パッカー車）の燃料や社会福祉協議会のボイラーで使用しています。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の皆様から要求のあった数字等については、次回の審議会で報告させていただきます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理対策にこれだけの費用が掛かっていることを広報等で示せば、市民も、ごみを出す時だけでなく、購入する時点で控えるとか考えるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の審議会で資料要求した「地域ごとの排出量」「ごみ成分含有量」の資料が今回なかった。地域ごとに、ごみが減量の状況を把握し、対策が必要ではないか。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回のところで提示します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ごみはどの種類が高く売れているか。量はそれほど変わっていないが、170 万位が収入減っているが、種類ごと売払金額は異なっているのか。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次のところで提示します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の売れ行きが少なくなれば、ごみを出す量が少なくなっているのではないか。自分もごみ袋は極小しか使わないようになった。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の販売収入は年間約 8,800 万円です。平成 26 年度からは 28 年度まで、ほぼ同額です。平成 25 年度は、9,300 万円でした。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する量と比例している部分もあるが、お店のストックの影響もあると想定されます。</li> </ul>

委員 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄はどれ位の量があるのか。回収されるものは何ですか。</li> <li>・市で回収したものは分かりますが、市で回収していないものは分かりません。不燃物としては、タイヤとか家電製品です。</li> </ul>
委員 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が出すごみは増加傾向ですが、原因は何ですか。事業者が儲かって増えるならいいですが、どういう理由で増えているのか調査し、事業者にも伝えていくべきではないですか。</li> <li>・ひとつの要因として、道路や河川の草枝については、以前は国や県で処理していましたが、2年位前から一般廃棄物として焼却場に持ち込まれるものが多くなっています。</li> </ul>
委員 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お弁当の殻など溝に捨ててあるのが多く、毎月回収しても同じところにある。また、たばこの灰皿をひっくり返している状況もある。広報で啓発は実施すればよいと思う。</li> <li>・ポイ捨て、不法投棄も含めて広報で周知したい思います。</li> </ul>
その他報告 市報告	<p>○その他 水銀体温計等の回収について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水銀による環境汚染や健康被害を防止するため、水俣条約が締結され、法が整備されました。水銀が適正に回収されるように、適正な措置を講じるよう求められており、責務を果たすため益田市でも回収したい。</li> <li>・一般家庭から水銀を4月～6月末まで薬局、市役所、美都、匹見、各地区振興センターで回収したい。益田市HP、広報、告知放送で周知したい。ポスターも掲示しPRしたい。</li> </ul> <p>また、都市鉱山メダルプロジェクトとして、携帯電話からオリンピックメダルを作成するため、市の受付窓口でも回収しています。</p>
委員 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回収された水銀はどのように処理されるのですか</li> <li>・県外の専門の水銀処理業者に送って、適正に処理させていただきます。</li> </ul>
その他意見 委員	<p>○その他意見質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に一般廃棄物処理基本計画を作成するにあたって、事業系一般廃棄物の割合は多く占め、事業系は直接搬入が多い。事業系一般廃棄物の減量化に向けた働きかけが出来るよい機会ではないか。計画づくりにおいて検討していただきたい。小売店などにも啓発できるとよい。県では3010運動が実施され、旅館に対しても生ごみ削減の啓発活動が実施されている。</li> </ul>

市 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の計画改定では、事業系一般廃棄物の削減についても検討したい。益田市役所でも生ごみを減らすため 3010 運動に取り組んでいます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰線に乗車すると、海岸に発泡スチロールが多く、家庭ごみではなく漁具がほとんどである。小さくなり、食物連鎖で人体影響も懸念される。</li> </ul>
委員	<p>益田市だけで出来ることではないかもしれませんが、早急に国などと連携し取り組んもらいたい。健康被害が発生するのではないかと思います、意見として言わせていただきました。</p>
市 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安田地区では毎月 3 人位でボランティアが実施されている。</li> <li>・14 地区で、自治会に委託して海岸清掃していただいている。海岸を管理しているところも実施している。努力していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系のごみが多いとのことだが、事業者も経費の削減と関わることであり、ごみは削減している。ごみが増えればごみ処理委託料も増えるので、削減努力をどの事業所も実施していると思う。一般の生ごみが多くなっているところによるものが多いと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油の回収は、公民館だけですか。遠いから出せない人もいると思う。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会単位で回収していないところもあります。新しく回収場所が必要であれば、事前に連絡いただければ、回収場所の増設は可能です。</li> </ul>
市長 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に審議会の予定はいつか。</li> <li>・8 月か 9 月頃予定しています。一般廃棄物処理基本計画改定の進捗状況に合わせて集まっていたきたいと思います。</li> </ul>
会長	<p>次回には、今回要望のあった資料については提出していきます。</p>
	<p>審議会終了</p>